

校訓	「誠実で信頼される人に」	目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かく丁寧な教育をする学校</li> <li>・夢と感動のある学校</li> <li>・地域にも信頼される学校</li> </ul>
重点項目	<p>1 学習指導関係</p> <p>①ICT教育の推進とともに3科の特性を生かした学習と資格取得の徹底を図る。</p> <p>②学習規律を図り、生徒に「分かる授業」を展開し、学習実績を上げる。</p> <p>③生徒が目指す進路実現を図る。</p> <p>2 生活指導関係</p> <p>①生徒それぞれの個性を見つめ、生徒の可能性を伸ばす。</p> <p>②生徒の社会的資質・能力の発達を支え、社会に受け入れられる自己実現を支える。</p> <p>③生徒と教師の信頼関係を確立し指導にあたるよう努める。</p> <p>3 その他</p> <p>①責任体制を明確にする。</p> <p>②学校行事は全職員で取り組み、整然と行う。</p> <p>③保護者、中学校、地域から信頼される学校を目指す。</p> <p>④1日の朝礼から終礼までの全ての授業・会議・集会等の時間厳守のこと。</p>		

評価項目	取組内容	具体的方策	評価結果と次年度への取組
学習指導 (教務部)	<p>1 基礎学力の定着と向上</p> <p>2 ICTを活用した教育の充実</p> <p>3 資格取得の推奨</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生、2年生で習熟度別授業を展開して、生徒の理解度に応じた授業を行い、分かる喜びや自信を与え、学習意欲を高める。</li> <li>・学習習慣の定着を図るために各教科と連携し課題を課す。</li> <li>・朝学習を行い基礎・基本の学習を行う。</li> <li>・各教科でICTを活用した授業を行う。また、研究授業週間を設定し、各教科のICTを活用した授業を共有する。</li> <li>・資格取得の必要性を理解させるため、ガイダンスを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別授業の展開や朝学習での学び直しにより、基礎学力の定着や向上に繋がった。次年度も継続して行う。</li> <li>・長期休暇等の期間に課題を課すことによって、学習習慣の定着を促進できた。</li> <li>・ICT教育の一環としてタブレット(Surface)を導入した授業展開に努めた。また、1人1台のタブレット(Surface)を活用してこれからの時代に必要不可欠なスキルとされる「情報創造力」「コミュニケーション力」「問題解決力」などの育成にも努めた。</li> <li>・技能検定・ITパスポート・CGクリエイター検定等の各資格取得率を向上させること</li> </ul>

	4 教員の学習指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得に向けて各資格に対する補習を実施する。</li> <li>学習実態調査、研究授業や教員研修を通して教員の力量向上を目指す。</li> <li>教員と保護者との連携を強化する。</li> </ul>	<p>ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間を通して、全教員が研究授業を行うことにより、授業改善のための教員による相互研鑽ができた。今後も継続して行う。</li> </ul>
生活指導 (生活指導部)	1 生活学習態度の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活学習改善を柱として指導の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品性ある身だしなみや気持ちの良い挨拶をする生徒が増えてきている。登下校指導やアトリウムでの指導を継続し、さらにマナーやルールを守る意識の定着を図る。</li> <li>今後も東海総合通信局や瑞穂警察署、愛知県助産師会の方と連携して有意義な講演を実施して、SNSや男女交際、交通安全等についての啓発を行っていく。</li> </ul>
	2 予防啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>講話や外部講師による講演会により、保護者と協力した啓発活動の充実を図る。</li> </ul>	
	3 日々丁寧な指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の心に寄り添い、根気よく生徒指導にあたる。</li> </ul>	
	4 自転車マナーの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校指導を行うことにより登下校マナーや自転車運転マナーの向上を図る。</li> </ul>	
進路指導 (進学指導部)	1 進路目標実現に向けての進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年で進学補習を計画実施する。</li> <li>進路ガイダンスを計画的に実施し、進路意識向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を希望する生徒の受験は指定校推薦入試だけではなく総合型選抜や公募制推薦型入試、一般入試なども増えてきている。入試に対応するために基礎学力を定着させるとともに、最新の情報を収集し、学年や生徒に情報発信していく。</li> <li>主要大学の担当者を決め、進学指導部全体でより効果的な進学指導を行う。</li> <li>現在実施している実力診断テストの他に、外部模試を活用してさらなる学力の向上と定着を図る。</li> <li>進学補習の形態、内容を見直し、生徒がさらに効果的に学習を進めることができようように研究を継続していく。</li> </ul>
	2 基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>実力診断テストを実施し、学習指導、進路指導に活用する。</li> </ul>	
	3 基本的な学習習慣および生活習慣の確立		
	4 校内で連携をとり、生徒の確実な進路実現を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬面接や個別指導の充実を図る。</li> <li>各学年で保護者対象の進学説明会を実施し、情報を提供する。</li> <li>オープンキャンパスへの参加を促す。</li> </ul>	

<p>進路指導 (就職指導部)</p>	<p>1 進路意識の向上</p> <p>2 基礎学力の育成</p> <p>3 職業観の育成</p> <p>4 企業開拓・企業との良好な関係を築き、求人確保に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現にむけて、各学年に合わせた就職行事を計画し実施する。</li> <li>・学年と協力し朝学習、総合学習、学校設定科目の就職演習において就職対策に取り組む。</li> <li>・地元事業所、本校生の採用実績がある企業の協力を得て、インターンシップを実施する。</li> <li>・各地域の合同企業説明会やハローワーク主催の行事、また企業独自の説明会に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職講話・ガイダンス・模擬面接等の就職行事計画し実施する。また各学年において保護者対象の就職説明会も実施し家庭と学校の連携図ることができた。</li> <li>・採用試験においてSPI試験を実施する企業もあるため、従来の一般常識の対策問題に加えSPI試験対策問題にも取り組み採用試験の結果に繋げることができた。</li> <li>・インターンシップの参加希望者が多く、複数回実施し約225名の生徒が参加した。次年度も継続して実施する。</li> <li>・就職希望の生徒140名に対して新規の企業を含め、求人社数1,589社、求人数2,366名で昨年度より1割増加し、1人あたり11社になった。</li> </ul>
<p>特別活動 (生徒会) (地域交流係)</p>	<p>1 生徒会活動の活性化</p> <p>2 部活動の活性化と充実</p> <p>3 地域貢献を目指した活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会行事を通し、生徒の情操教育を図る。</li> <li>・ホームページを活用し、部活動の成績をより多くの方に知らせる。</li> <li>・「土曜セミナー」を年間4回実施し、地域と生徒の繋がりを深める。</li> <li>・タウンサークルを年3回、各学期初めに実施し、地域の方々と相互理解を図る。</li> <li>・地域で開催される行事に積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・享栄祭は全生徒が主体的となり協力することで大きな達成感を得ることができた。</li> <li>・ボクシング部が全国大会への出場を決めた。ホームページでの報告内容を充実させた。</li> <li>・年間4回土曜セミナーを実施することができた。生徒、教職員、保護者、PTA、地域が学校行事を通じて繋がることできた。</li> <li>・年間3回開催し、地域の方々と意見交換を行った。より一層地域に必要とされる学校を目指していきたい。</li> <li>・区役所主催ヤングサポーターみずほ、ゼロの日の交通安全指導などの行事に参加し、生徒会活動への理解を得ることができた。</li> </ul>

	4 募金・ボランティア活動を通じて相互扶助の精神を育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコキャップ運動を継続実施する。</li> <li>・災害における募金活動を実施する。事前、事後指導にも力を入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々からもご協力いただき、今年度も多くのペットボトルキャップの回収ができた。</li> <li>・赤い羽根共同募金、能登半島地震募金、東日本大震災募金を実施した。募金を通して相互扶助の気持ちを育むことができた。</li> </ul>
学校管理 (総務部)	1 施設設備の管理  2 式典等の円滑な運営  3 防災意識の向上  4 P T A活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室の点検一覧表を作成した。</li> <li>・各種式典の円滑な運営を図るとともに、本校体育館で卒業式を実施する。</li> <li>・年に2回の防災教育を計画し、防災ビデオの視聴や避難誘導訓練を実施することで、教員・生徒の防災意識を向上させる。</li> <li>・P T A委員会を年間5回計画、また各学期末に教員と保護者の親睦ボーリング大会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の点検を効率化し、迅速な対応に努めた。</li> <li>・卒業生、保護者、教職員が参加し、円滑に実施することができた。</li> <li>・避難誘導訓練は2回とも実施することができた。次年度はさらに緊張感を持たせた防災教育を行うことで生徒の防災意識を向上させたい。</li> <li>・土曜セミナー、享栄祭などすべての行事に保護者が参加し、大いに盛り上がった。そのためPTAたよりの内容も随分充実した。</li> <li>・年5回の委員会は学校を中心に会を開催し、従来通りに実施することができた。</li> </ul>
学校保健 (保健厚生部)	1 心身の健康の保持・増進  2 健康な生活を送る実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係する教員と必要な連携をとり、保健室を利用する生徒へ適切な対応をする。</li> <li>・年間の健康診断を計画して実施し、生徒の健康管理及び保健指導を実施する。</li> <li>・5 S（整理 整頓 清掃 清潔 習慣）運動を柱として、美化意識を高める。</li> <li>・年間を通して美化委員の生徒を中心に清掃点検を行い校内の美化に努める。</li> <li>・感染症対策として予防啓発や各教室に手指消毒液を設置し、発生状況の把握と校内の消毒を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身に不安を抱えた生徒の早期発見に努め、関係する教員と連携して対応した。</li> <li>・清掃点検を実施し、美化意識の啓発とともに今後も清潔な環境の保全に努める。</li> <li>・教職員、生徒対象に救命講習会を開催し、緊急時の対応を実践的に学んだ。</li> </ul>

<p>学年指導 (1学年)</p>	<p>1 本校生徒としての自覚と誇りを養い、教育活動が生徒に円滑に浸透するための素養をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的生活習慣を整えて、自律した行動がとれる生徒を育てる。</li> <li>・ 主体的な学習習慣の定着と基礎学力の涵養を図る。</li> <li>・ 教育活動を通して人間力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間を意識することで多くの生徒が基本的生活習慣を整えることができた。</li> <li>・ 挨拶の励行、丁寧な言葉遣いを意識することで高校生としての自覚が芽生え、規律ある行動につながった。</li> <li>・ 朝学習の時間に小テストを実施することで学力の向上を図り、自主的に学習に取り組める環境をつくった。結果として、授業後も自ら学習に取り組む生徒が増加した。</li> </ul>
<p>学年指導 (2学年)</p>	<p>1 中核学年としての自覚と誇りを養い、自己の進路目標の設定、それに必要な学力を身につけさせ、資格取得を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に行動がとれるようにする。</li> <li>・ 学習習慣の定着と進路目標に必要な学力向上を図る。</li> <li>・ 教育活動を通して人間力を育成する。</li> <li>・ 補習を行い、上級検定試験の取得率を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶や時間に対する意識は、昨年度より継続してできている。次年度は最上級生として後輩の良き手本となるよう意識を高めさせる。</li> <li>・ 文化祭や体育祭、修学旅行などの学校行事の際に自分たちで考え調べて、準備・計画することができた。</li> <li>・ 2年次からは各科に分かれ、検定に対する目的意識が明確になった。そのため、自主学習や受験者数も増加した。次年度も継続して丁寧な指導を行う。</li> </ul>
<p>学年指導 (3学年)</p>	<p>1 進路目標実現に向け最後まで根気強く最善を尽くす生徒を育てる。また、最上級生として品位と誇りをもった生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に行動がとれるようにする。</li> <li>・ 進路目標実現に必要な学力の定着や資格取得の向上を図る。</li> <li>・ 教育活動を通して人間力を育成する。</li> <li>・ 保護者と協力・連携し、生徒指導・進路指導にあたる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路実現を目標に、学年全体で指導に取り組んだ。その結果、学習面や生活面において向上することができた。</li> <li>・ 進学や就職において、丁寧な指導を心掛けた。その結果、生徒が希望の大学や就職先に向けて努力し、合格することができた。進路決定後も気を抜かず学習面や生活面を、継続して指導していく。</li> <li>・ 2年次より継続して保護者との連携を図った。その結果、生徒の進路実現に対して協力して取り組むことができた。</li> </ul>
<p>生徒募集 (入試広報室)</p>	<p>1 募集活動と情宣活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間を5期に分けて生徒募集のための中学校訪問を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校訪問などを利用して募集活動を行っている。入学後の学習状況や生活状況、卒業生の進路状況などの情報提供は、中学校から高く評価され</li> </ul>

	<p>2 高校入試説明会・体験入学会・学校説明会等の計画・実施</p> <p>3 広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度新たに高校入試説明会を実施する。(6月15日)</li> <li>・体験入学会は夏季休業中に2回実施する。</li> <li>・学校説明会は10月26日(土)から12月7日(土)までの土曜日に6回実施する。</li> <li>・私学展や中学校主催の進路説明会、講演会に参加し、情宣・広報活動を進める。</li> <li>・名古屋市内の学習塾を中心に、塾への広報活動を行う。</li> </ul>	<p>ている。</p> <p>「面倒見の良い学校」としての本校への信頼にもつながっているため、今後も継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学会や学校説明会の参加者のうちおよそ60%の生徒が本校を受験している。講座の内容を工夫し、本校の特色や良さを中学生や保護者に理解してもらえるようにする。また、学校説明会での生徒会の生徒による校内案内は参加者から好評であるため、今後も継続して行う。</li> <li>・ホームページの一層の活用を図る。</li> </ul>
--	--	--	--